

平成20年度 時間外診療における二次救急の現状 に関するアンケート 調査結果報告

社団法人 全日本病院協会 救急・防災委員会
種村 一磨（曙会 シムラ病院 理事長・広島）
石原 哲（誠和会 白鬚橋病院 院長・東京）



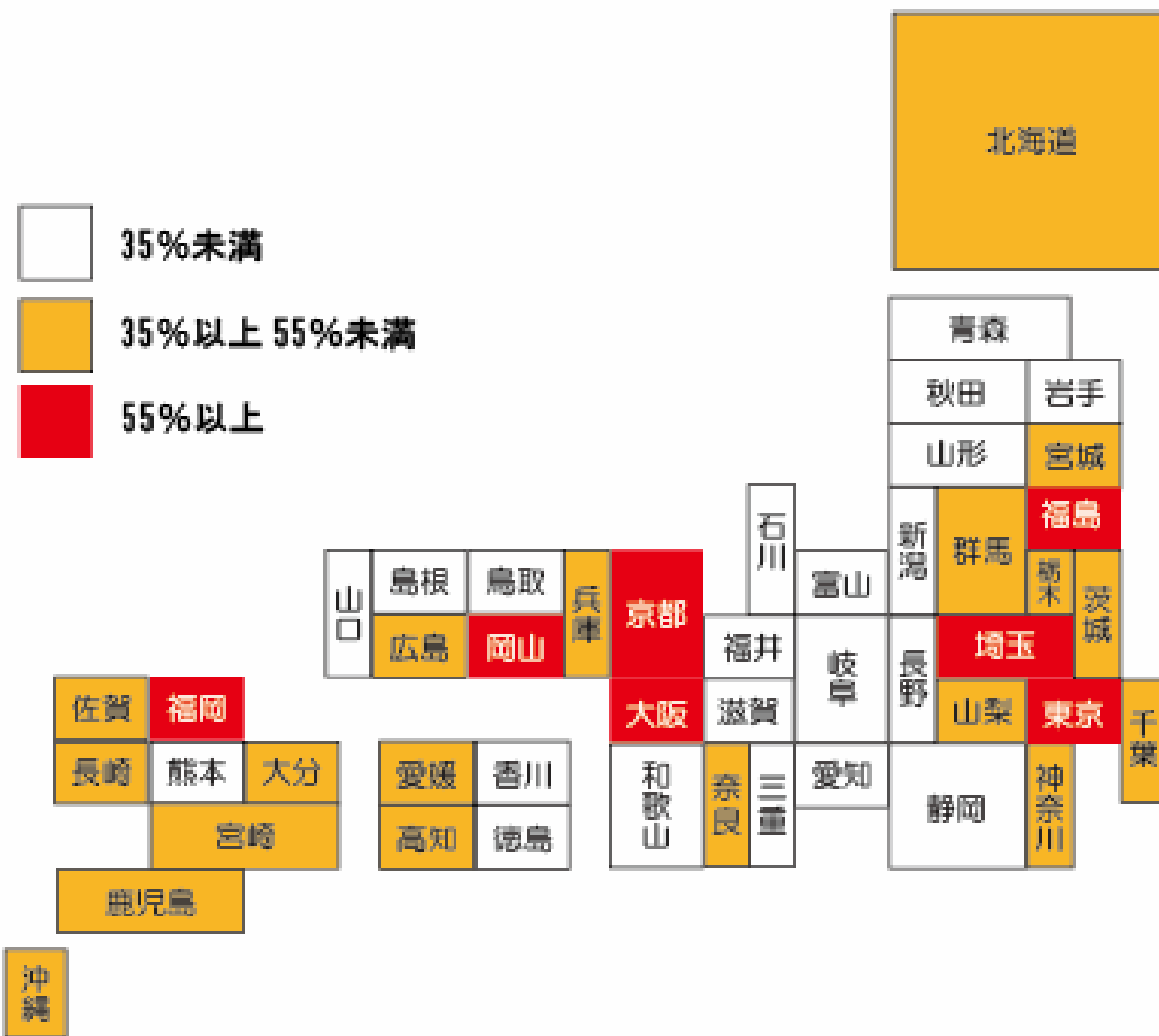
ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

時間外診療における二次救急の現状に関するアンケート

1. 調査目的 時間外診療における二次救急の状況を把握することを目的とした。
2. 調査客体 全国の救急告示病院で全日本病院協会会員病院を客体とし、客体数を1,052病院とした。
3. 調査内容 地域の全体像、初期救急・二次救急・三次救急との連携・救急搬送の状況について調査。
4. 調査期間 平成20年3月29日に調査票を客体へ送付し、平成20年5月10日までに報告をもとめた。
5. 調査方法 調査票を客体病院へ送付し、自計記入後返送
6. 調査の回収 有効回答病院は380 回答率は36.1%

各都道府県の全搬送人員総数に対する 私的病院(救急告示)搬送人員数の割合

※総務省消防庁「平成19年度版 救急・救助の現況」P60別表6より作成



全体像

表 8 - 1 □救急車搬入数□合計（年間）（※6施設無回答）

件数	件数	比率 (%)
100 件以下	98	26.2%
101～500	100	26.7%
501～1000	65	17.4%
1001～2000	60	16.0%
2001～5000	42	11.2%
5001 以上	9	2.4%
合計	374	100.0%

表 6 - 1 □職員数□□□医□師（※1施設無回答）

人数	件数	比率 (%)
10 人以下	193	50.9%
11～20	89	23.5%
21～30	38	10.0%
31～40	12	3.2%
41～50	13	3.4%
51～100	21	5.5%
101 人を超える	13	3.4%
合計	379	100.0%

医師数別の搬送数分布(年間)

(医師数別) ※1施設が病床数、救急車搬送回数ともに回答がなかった

医師数	救急車搬送数合計(年間)													
	100以下		101~500		501~1000		1001~2000		2001~5000		5001以上		合計	
10人以下	50	13.2%	43	11.3%	30	7.9%	33	8.7%	31	8.2%	6	1.6%	193	50.9%
	25.91%		22.28%		15.54%		17.10%		16.06%		3.11%		100.00%	
11人~20人	18	4.7%	28	7.4%	17	4.5%	19	5.0%	5	1.3%	2	0.5%	89	23.5%
	20.22%		31.46%		19.11%		21.35%		5.62%		2.25%		100.00%	
21人~30人	14	3.7%	9	2.4%	9	2.4%	5	1.3%	1	0.3%	0	0.0%	38	10.0%
	36.84%		23.68%		23.68%		13.16%		2.63%		0.00%		100.00%	
31人~40人	5	1.3%	3	0.8%	3	0.8%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	12	3.2%
	12.50%		7.69%		7.69%		2.63%		0.00%		0.00%		30.00%	
100以下	50	13.2%	43	11.3%	30	7.9%	33	8.7%	31	8.2%	6	1.6%	193	50.9%
	25.91%		22.28%		15.54%		17.10%		16.06%		3.11%		100.00%	
101人以上	4	1.1%	5	1.3%	2	0.5%	0	0.0%	1	0.3%	1	0.3%	13	3.4%
	30.77%		38.46%		15.38%		0.00%		7.69%		7.69%		100.00%	
合計	99	26.1%	102	26.9%	65	17.2%	61	16.1%	43	11.3%	9	2.4%	379	100.0%

※10人以下が50.9%(193病院)、11~20人が23.5%(89病院)

⇒20人以下が74.4%(282病院)であり、貢献は驚異的。

※搬送数500件以下が53% ⇒集約化に向かうか否か。

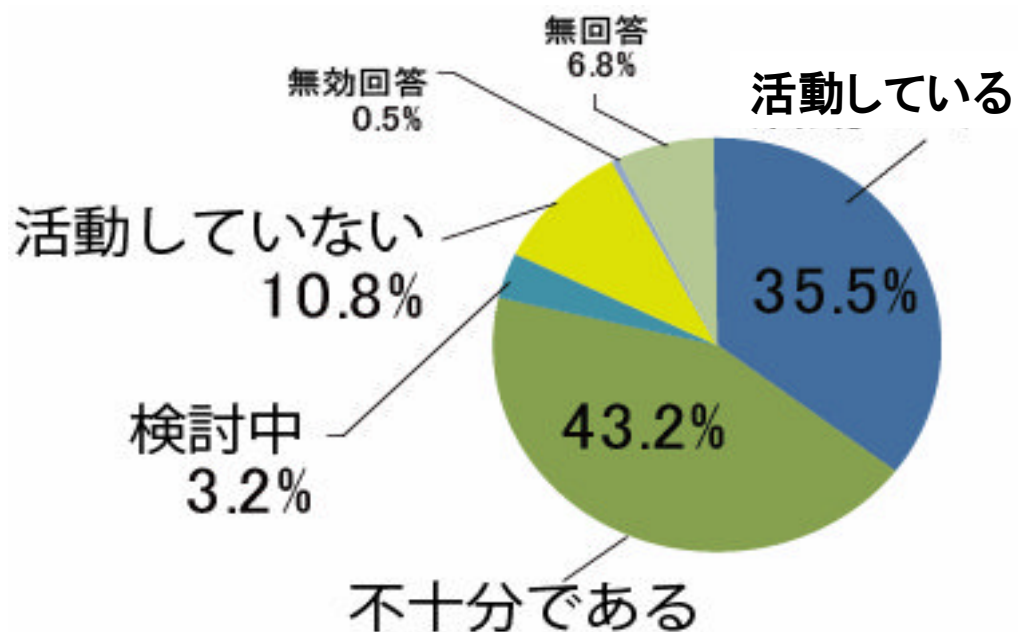
病床数別の搬送数分布(年間)

(病床数別)

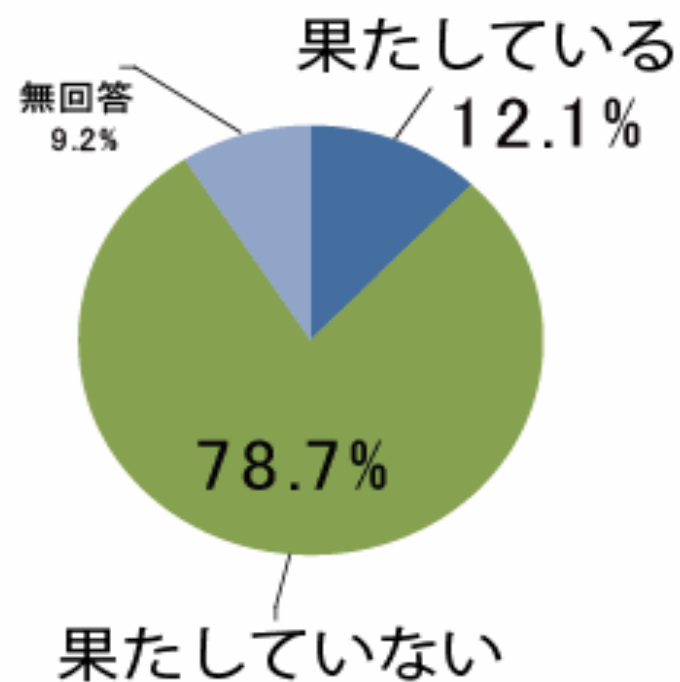
	救急車搬送数合計(年間)													
	100以下		101～500		501～1000		1001～2000		2001～5000		5001以上		合計	
50以下	6	1.6%	6	1.6%	8	2.1%	5	1.3%	4	1.1%	2	0.5%	31	8.2%
	19.35%		19.35%		25.81%		16.13%		12.09%		5.45%		100.00%	
51～100	31	8.2%	23	6.1%	14	3.7%	18	4.7%	16	4.2%	1	0.3%	103	27.2%
	30.10%		22.33%		13.59%		17.48%		15.53%		0.97%		100.00%	
101～200	31	8.2%	41	10.8%	27	7.1%	21	5.5%	13	3.4%	5	1.3%	138	36.4%
	22.46%		29.71%		19.57%		15.22%		9.42%		3.62%		100.00%	
201～500	26	6.9%	27	7.1%	13	3.4%	16	4.2%	9	2.4%	1	0.3%	92	24.3%
	28.26%		29.35%		14.13%		17.39%		9.78%		1.09%		100.00%	
500以上	5	1.3%	5	1.3%	3	0.8%	1	0.3%	1	0.3%	0	0.0%	15	4.0%
	33.33%		33.33%		20.00%		6.67%		6.67%		0.00%		100.00%	
合計	99	26.1%	102	26.9%	65	17.2%	61	16.1%	43	11.3%	9	2.4%	379	100.0%

医師会と初期救急

【医師会の活動】



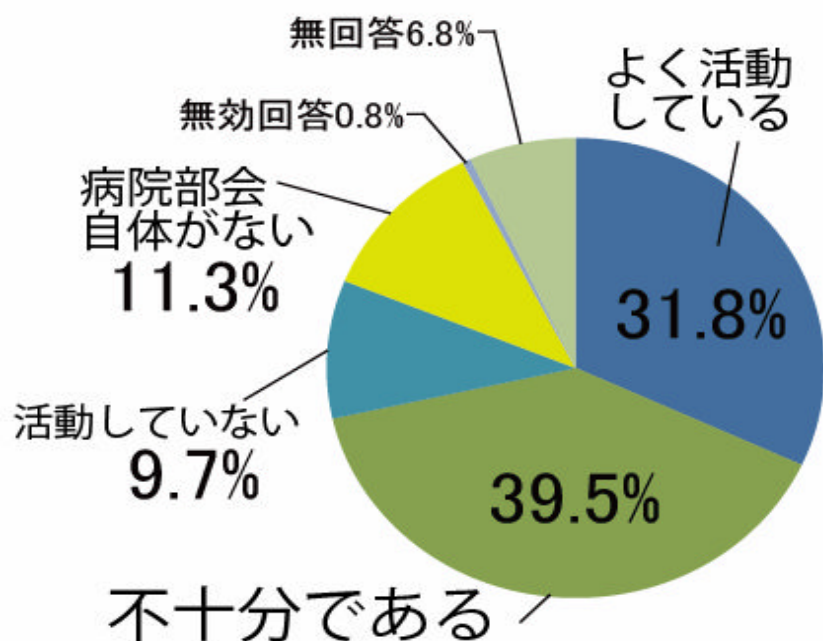
【かかりつけ機能】



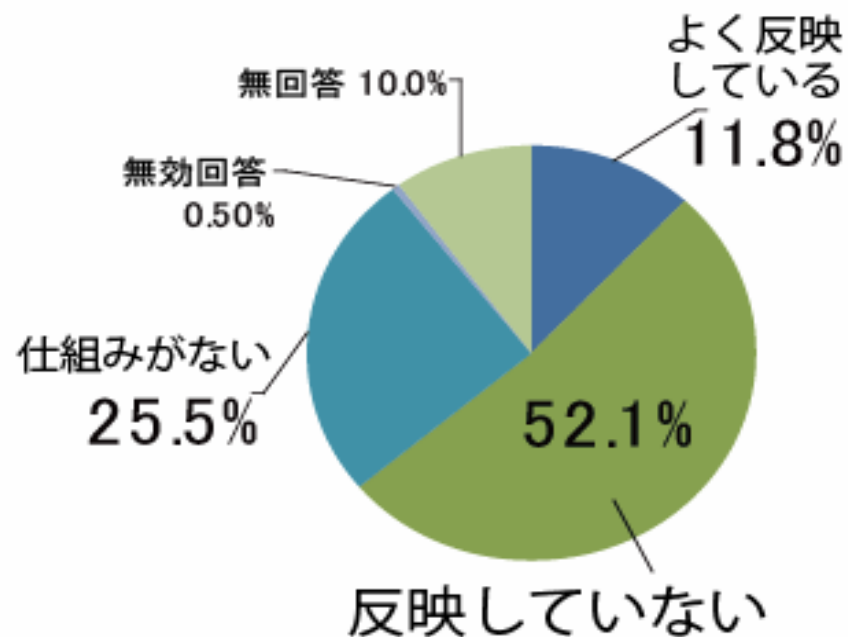
※医師会はクリニックが主体だが、初期救急については活動が弱く昨今のRMから空疎化している。

医師会と民間病院

【病院部会】



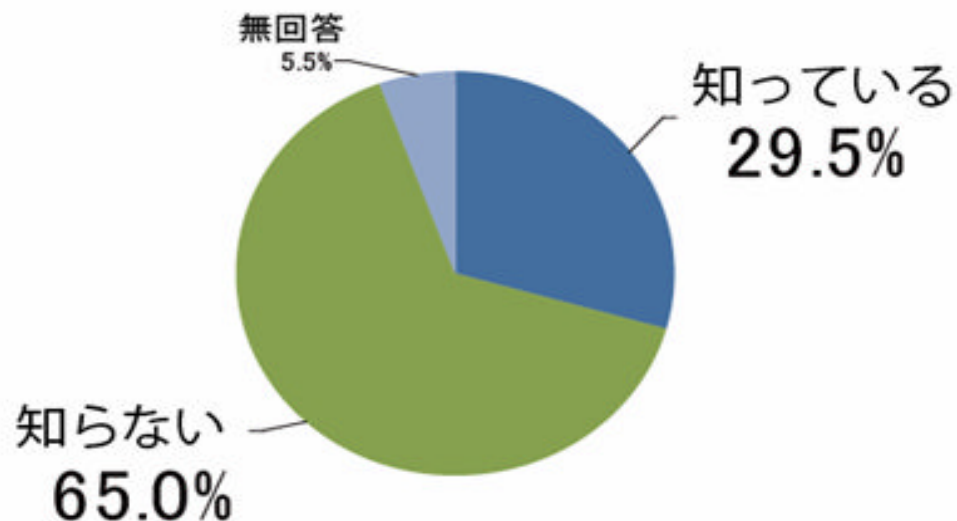
【民間病院の意向】



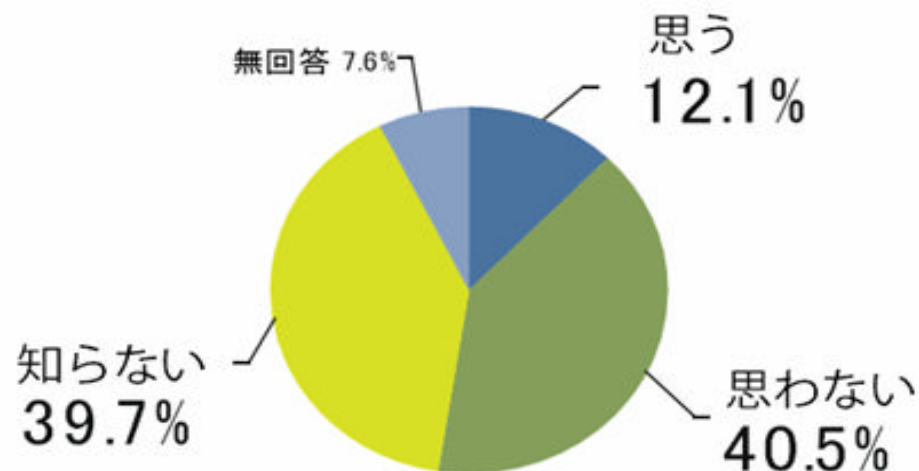
※医師会に病院(民間)の声が反映されていない。

二次救急に対する補助金

【配分基準】



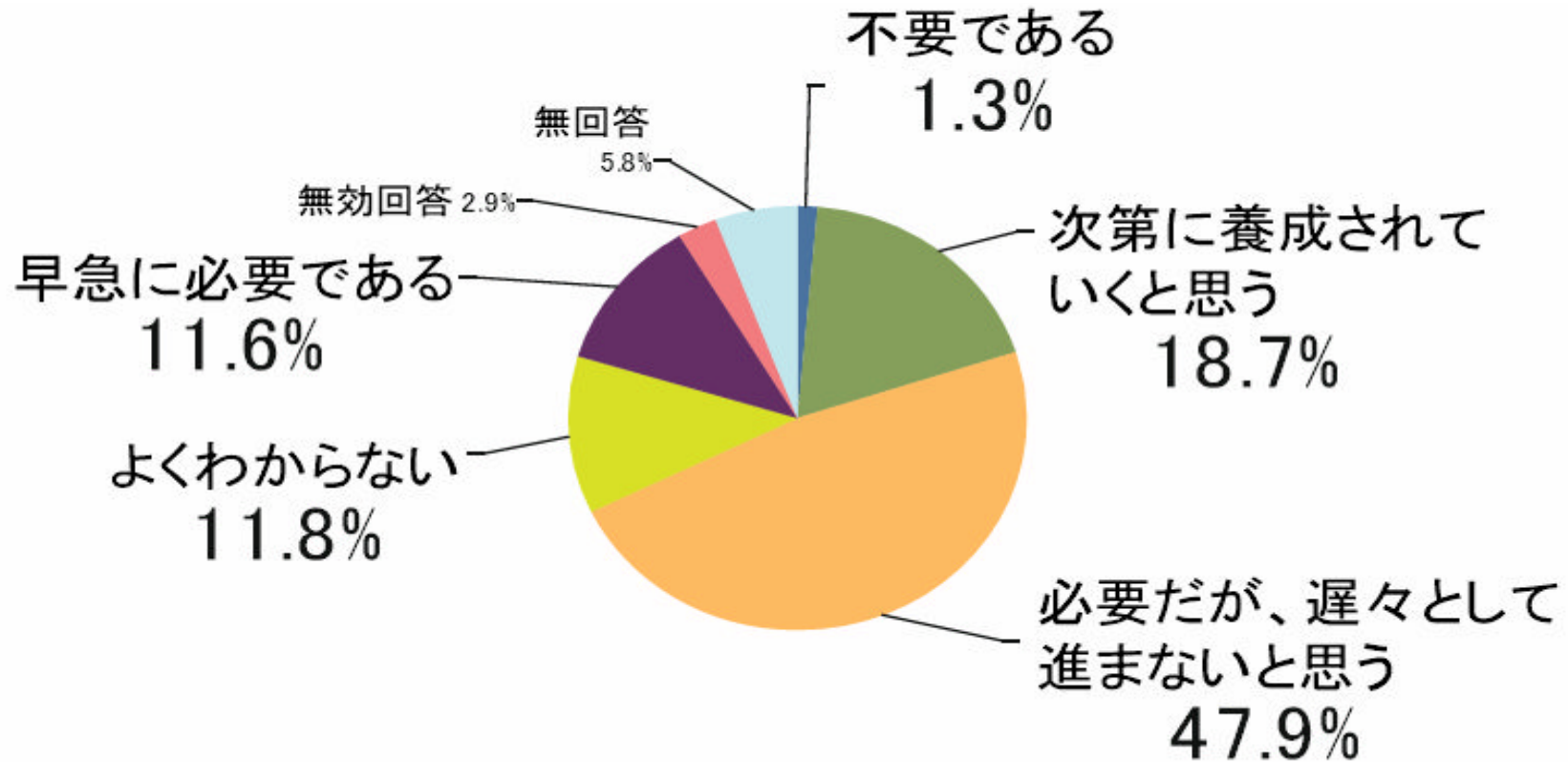
【配分は適切】



※武士は食はねど高楊枝

※一般財源化・・・地方自治の総合力・・・提言

救急医 総合医

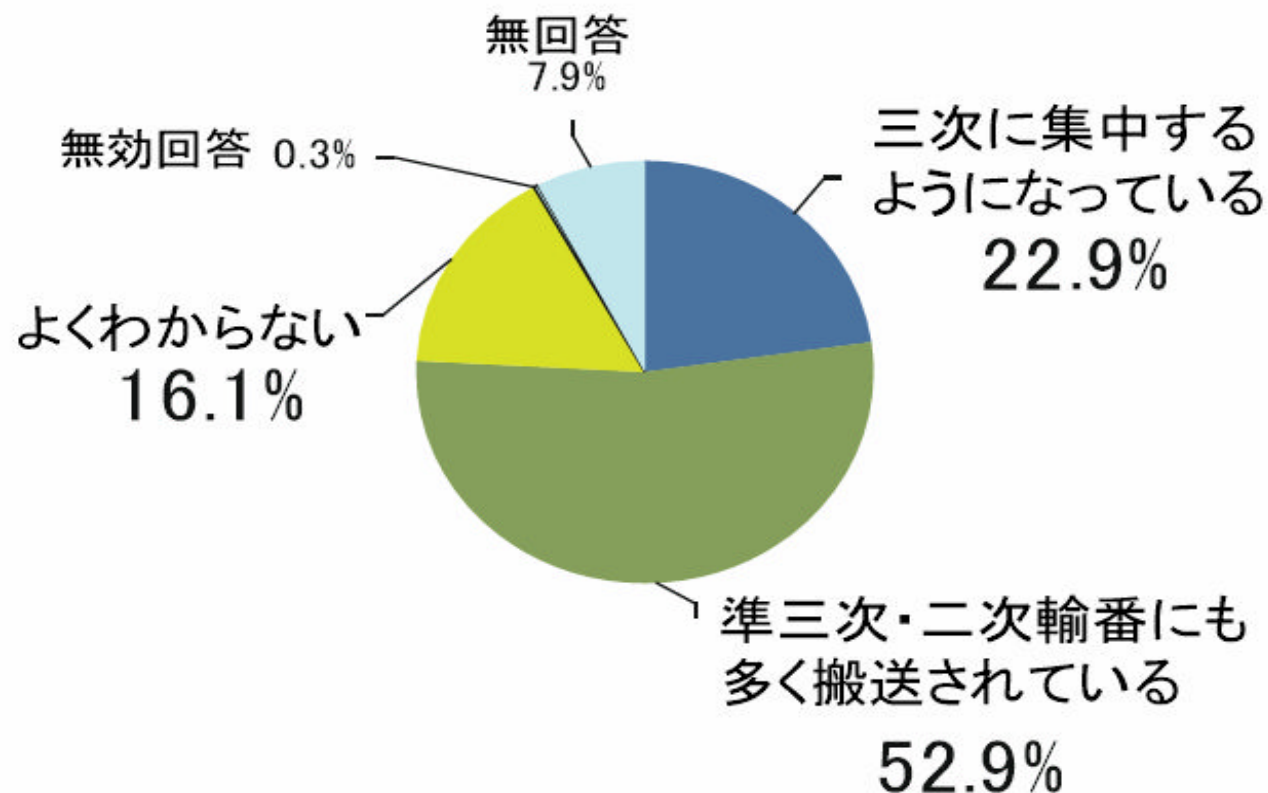


※専門医制度の見直し

※国民は専門医を求める

三次救急

貴地域のDOA(CPAOA)はどこに搬送されていますか。

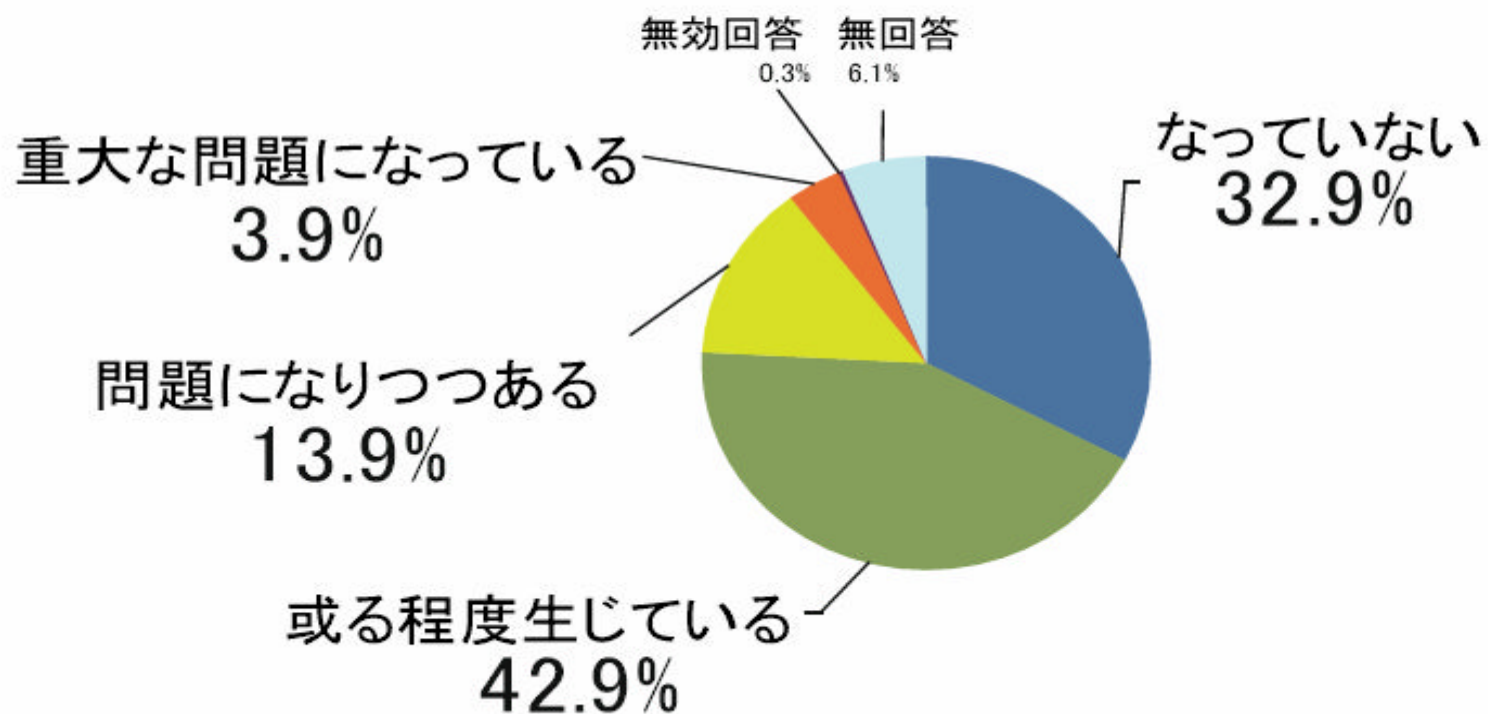


※全ての超高齢者に集中治療⇔単純な生命至上主義

※看取り — 尊厳死

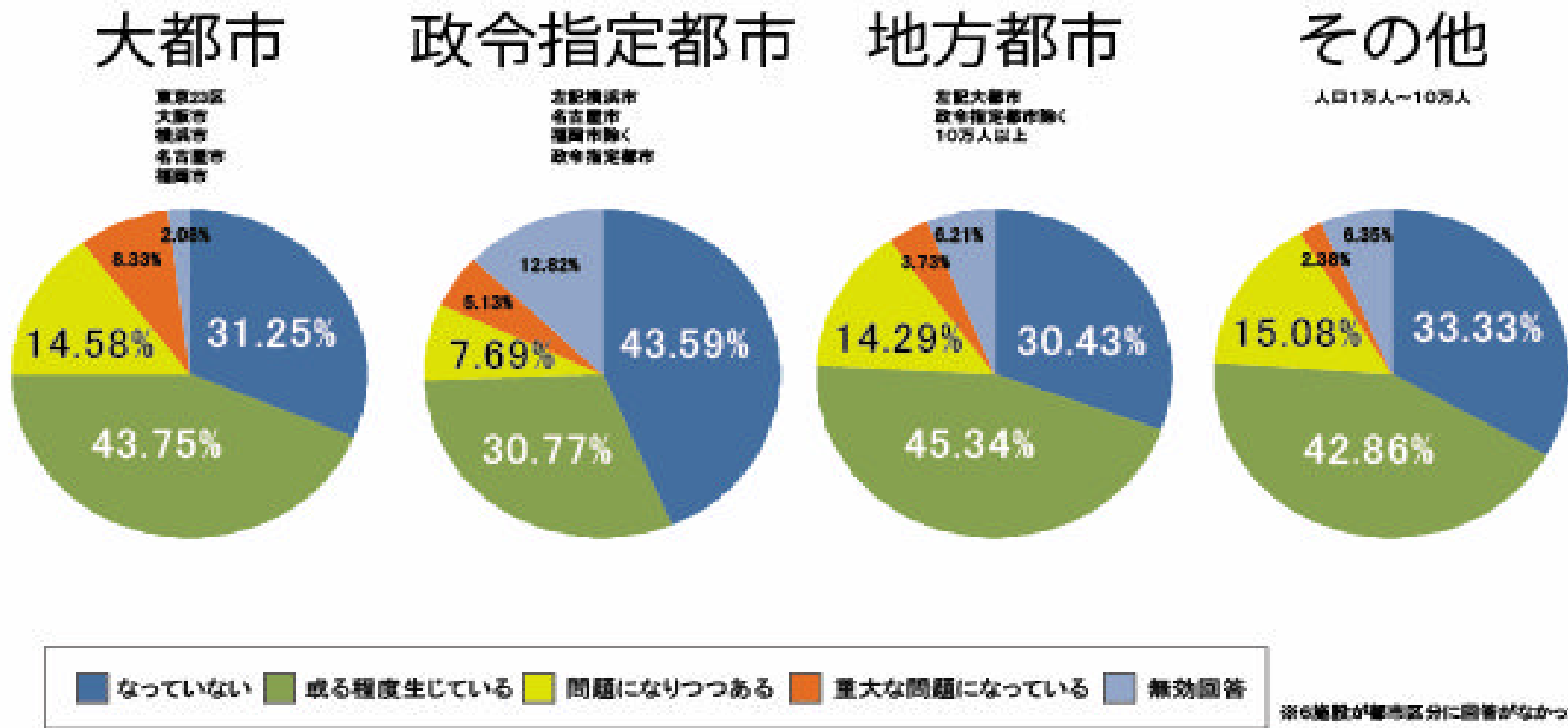
搬送困難

貴地域では「搬送困難（たらい回し）」が問題になっていますか



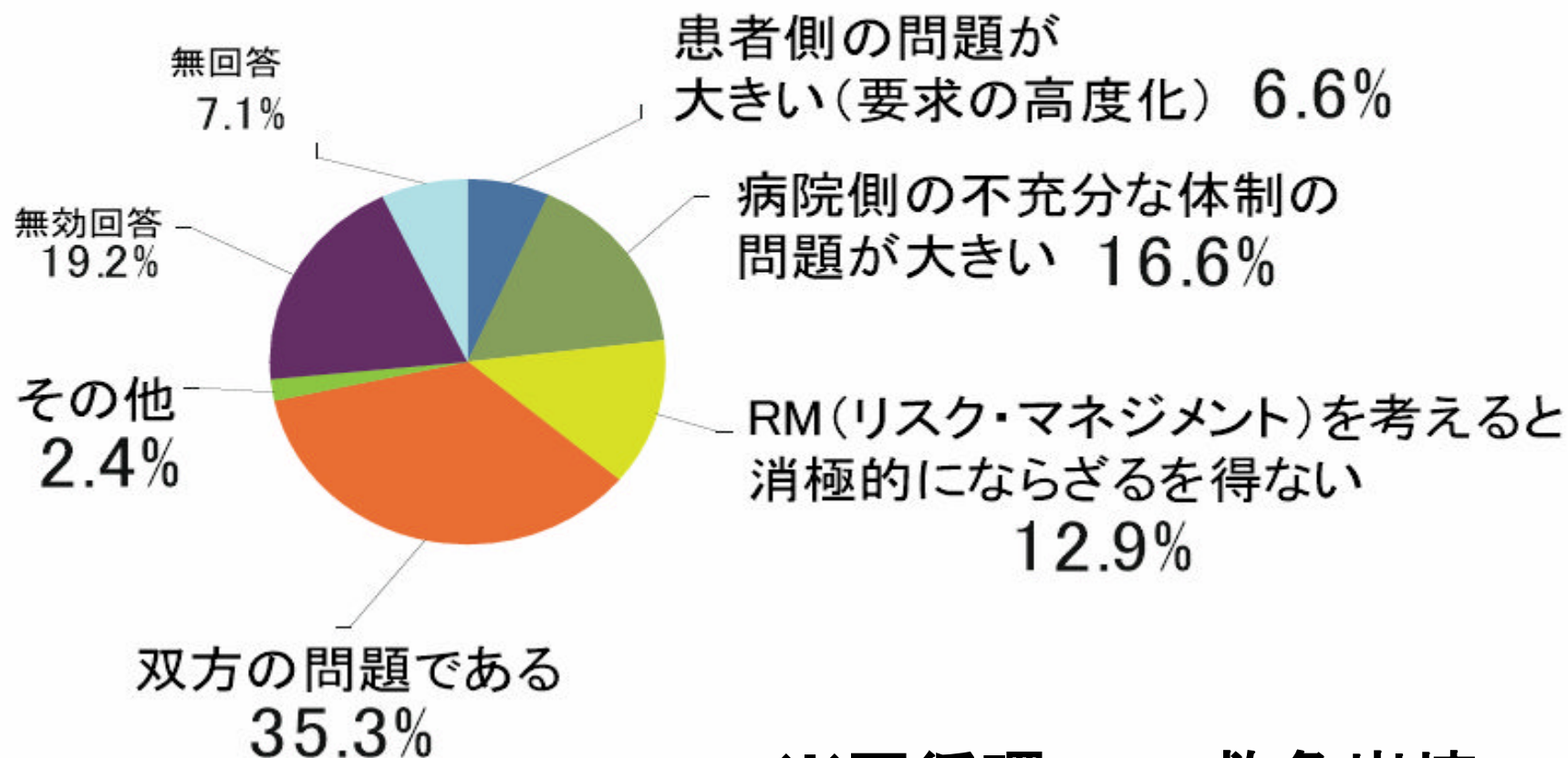
搬送困難

搬送困難の都市規模別傾向



搬送困難

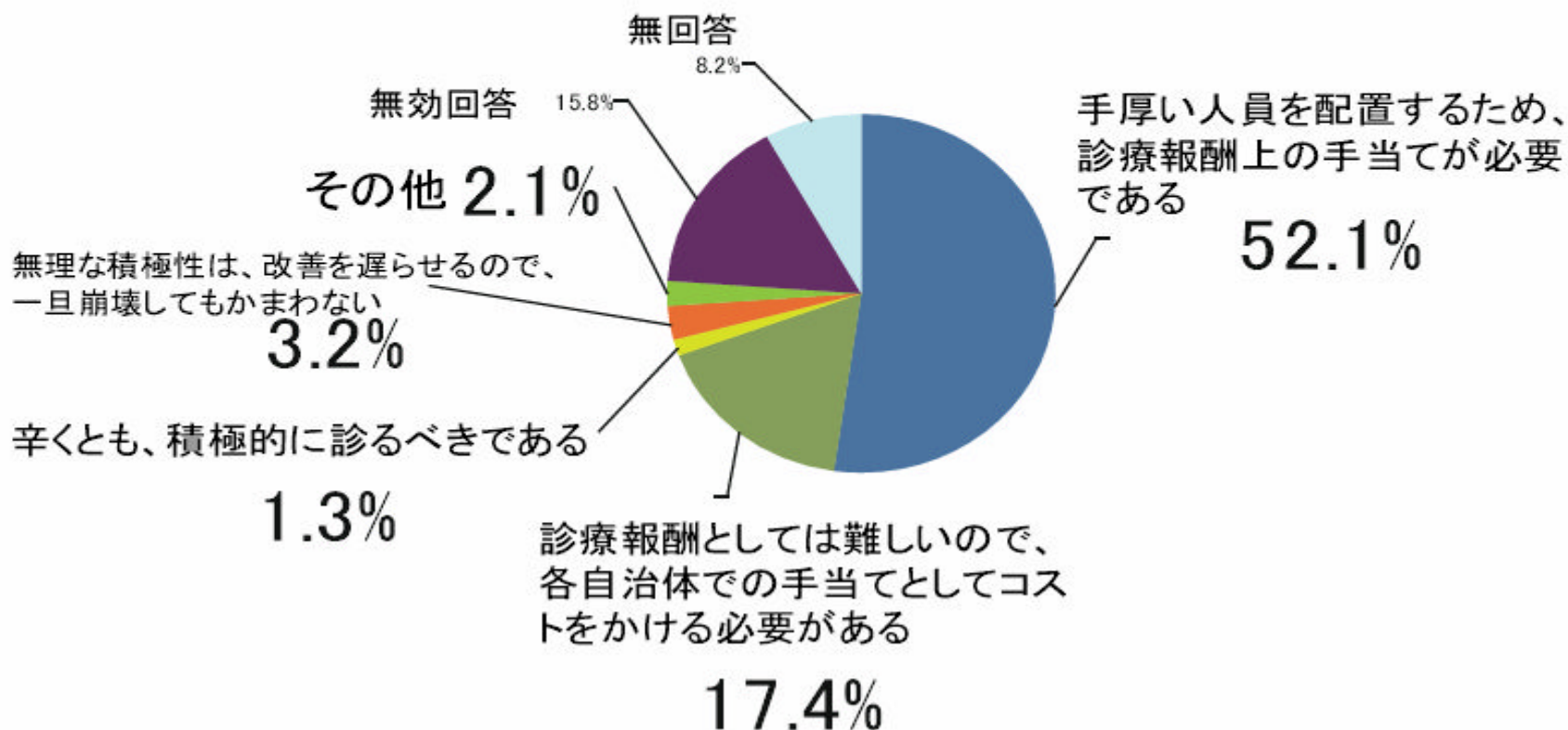
拒否側の増加は、患者側と病院側のどちらにも原因があると思いますが
いかがお考えですか。




※悪循環 — 救急崩壊

搬送困難

病院側として何を優先すべきでしょうか。





救急医療の今後のあり方に関する検討会

中間取りまとめ

平成20年7月30日

厚生労働省

第3検討事項

1. 救急救命センターに対する新しい評価について
2. 救急救命センターの整備のあり方について
3. **第二次救急医療機関の状況及び今後の整備について**
4. 特定の診療領域を専門とする医療機関の位置付けについて
5. 救急搬送における課題と円滑な受入れの推進について